

「大きな声援に支えられて・・・」

28日（火） 待ちに待った持久走大会本番の日。残念ながら朝から雨、「子ども達が体調をくずしてしまうのでは・・・」 複雑な思いで玄関に立ち、登校する子ども達を待っていました。

「校長先生、持久走大会はやるんですか？」

「もちろん やるよ！」

「え～ 走りたくないなあ～。」

子ども達の気持ちがよく分かります。できれば、きついことは、できるだけ後回しにしたいと私も思います。おまけに、天気も悪いし、なんともすっきりしない気分ようです。

いろんなことを考えながら体育館に入ると、子ども達も次々に入ってきました。開会式が始まり、子ども達の前に立つと、その姿から、いつもと違う雰囲気を感じました。まさに、「真剣勝負に挑む気合い」です。朝とは全く違う姿を見ながら、「今日の持久走大会も、きっと、素晴らしいものになる。」と確信しました。

話の中では、「しっかり目標をもって、最後まで走ってほしい。」ということをお伝えしました。目標を意識しながら走ることで、「苦しさ」「きつさ」に耐え、最後まで諦めない走りができると考えていたからです。

いよいよ1年生からスタート。小雨が落ちる大会でしたが、子ども達は力強い走りを見せてくれました。

体調を崩しているのに最後まで走りきった子ども、苦しそうにお腹を押さえながらも走り続けた子ども、ゴールして倒れそうになる子ども、最後まで必死に頑張る子ども達の姿に、ただただ感動するばかりでした。

子ども達が頑張れた大きな理由の一つに、保護者の皆様・地域の皆様の力強い応援があったからだと思います。悪天候ではありましたが、コースには、昨年以上にたくさんの方々が集まっていただきました。

「がんばれ～」 「あと少し～」 「いいぞ～」 皆様の力強い声援のおかげで、今年も素晴らしい大会となりました。本当にありがとうございました。是非、来年の大会にも足を運んでいただき、頑張る子ども達に、大きな声援をいただきたいと思います。

嬉しかったことがもう一つ。無事に大会が終わり、子ども達は教室に戻って4校時の授業。「きっと、疲れていて勉強に集中できないだろう。」と思っていたのですが、どの教室に入っても、意欲的に学習している子ども達がいっぱい。気持ちを切り替え、やるべきことに全力で取り組む姿に、またまた感動です。

ふと顔を上げると、西の空には、きれいな虹がかかっていた。まるで、頑張る子ども達を優しく見守り、温かく応援しているようでした。



元気いっぱいスタートする1年生



力強い応援に励まされる子ども達

